

# 慶事のしおり



親しい人の慶び事は、  
自分のことのようにうれしいもの。

ご結婚やご出産、ご新築、新入学、各種記念日など、  
日常のなかにはいっぱいあるうれしい節目に  
あなたの想いをかたちにかえて。

マルエイは心のごもった贈り物をご提案します。

## お祝い、お返しのしきたりとマナー

### ■お品選びは 先様の立場になって。

配慮のない贈答は、喜びや感謝の気持ちも半減してしまい、その意味を失ってしまいます。まず、贈答の目的は明確に。先様の年齢、家族構成、好みなどを考え、どのようなものが先様に喜ばれるかチェックをしましょう。

### ■贈るタイミングを 間違えないように。

贈答には適当な時期があり、早ければ良いというものではありません。例として、結婚祝いの場合、挙式の1週間前までに。出産祝いなら母子ともに落ち着いてから1ヶ月以内。入学祝いの場合、4月上旬までが最も良い時期となります。

### ■配送の場合は 先様に送り状を。

忙しい昨今、配送による贈答が一般的となっています。しかし漠然とお品を贈るだけでは、先様が戸惑われる可能性があります。この場合、後に挨拶を兼ねた送り状を郵送しましょう。

### ■贈答のお返しは間をおいて。

贈答に対するお礼として、お返しの品を贈る場合は、贈答を受けてから1週間から10日たってからが良いでしょう。遅くとも、1ヶ月以内にお返しをしましょう。

### ■贈答のお返し相場。

従来は、目下の人への場合、贈られた品物と同額のもの、目上の人へは半額程度のお返しをするのが適当とされてきました。しかし、最近ではどのような方にも半額程度(半返し)が一般的となっています。同額程度でなくても決して失礼にはなりません。

### ■内祝いについて。

結婚、出産、七五三、受賞、長寿、新築の祝など、喜びを共にしたい相手に贈る内祝いは、先様の地位や、贈答品の金額を考慮し品物を贈ります。

# お祝い、お返しのしきたりとマナー

## 【お祝い】

種類	名称	進物の表書	進物の時期
婚礼	婚礼祝	御祝・御婚礼御祝 御結婚御祝	挙式の一週間前 までに
出産	出産祝	御祝・御安産御祝 御出産御祝	誕生日から お宮参り当日までに
結婚 記念日	銀婚式	御祝 銀婚式御祝	結婚後25年目
	金婚式	御祝 金婚式御祝	結婚後50年目
長寿	敬老の日	御祝・御長寿御祝	敬老の日当日 または直前
	還暦祝	御祝・還暦御祝	数え年61歳の 誕生日までに
	緑寿祝	御祝・緑寿御祝	66歳
	古希祝	御祝・古希御祝	70歳
	喜寿祝	御祝・喜寿御祝	77歳
	傘寿祝	御祝・傘寿御祝	80歳
	米寿祝	御祝・米寿御祝	88歳
	卒寿祝	御祝・卒寿御祝	90歳
	白寿祝	御祝・白寿御祝	99歳
	紀寿祝	御祝・紀寿御祝	100歳
	茶寿祝	御祝・茶寿御祝	108歳
皇寿祝	御祝・皇寿御祝	111歳	
幼少年期	宮参り	宮参り御祝	生後(男)31日目 (女)32日目
	食初め (箸そろえ)	食初御祝	生後100日目 または120日目
	初節句 七五三	初節句御祝 七五三御祝	生後初めての節句 3歳・5歳・7歳の 宮参り当日 (11月15日)までに
	十三参り	十三参り御祝	数え年13歳の 4月13日
その他	入学祝	御祝・御入学御祝	決定後、 なるべく早く
	進級祝	御祝・御進級御祝	
	卒業祝	御祝・御卒業御祝	
	栄転祝	御祝・御栄転御祝	
	開業祝	御開業御祝	当日までに
	開店祝	御開店御祝	
	新築祝	御祝・御新築御祝	
	地鎮祭	御祝・地鎮祭御祝・奉獻	当日持参
	上棟式	御祝・上棟式御祝・奉獻	
	竣工式	御祝・竣工式御祝・奉獻	
	落成式	御祝・落成式御祝・奉獻	
	受賞(章)祝	御受賞(章)御祝	決定後なるべく早く
	成人式	御祝・成人御祝	
勤続祝	御祝・勤続御祝		
創立祝	御祝・創立御祝		

## 【お返し】

種類	名称	進物の表書	進物の時期
婚礼	婚礼の内祝	内祝・寿 (嫁方の場合は 旧姓を書きます。)	挙式後 約1ヶ月以内
	引出物	寿 (両家の姓を書く。 両人の名前を書く 場合もあります。)	結婚披露 終了直後
出産	出産の内祝	内祝・寿 (赤ちゃんの名前を書き、 ふりがなをつけます。)	誕生日から お宮参り当日 までに
結婚 記念日	引出物	内祝	結婚記念式 終了直後
長寿	敬老の日内祝 還暦の内祝 古希の内祝 喜寿の内祝 傘寿の内祝 米寿の内祝 卒寿の内祝 白寿の内祝 紀寿の内祝 茶寿の内祝 皇寿の内祝	内祝・賀寿内祝	お祝いの日から 1~2週間
	※お返しの品物には酒器、茶器、盆、著書、自筆 の色紙、赤飯、紅白のもちなどが最適です。 特に長寿のお返しは、相手の方にも縁起が良いと喜ばれます。		
幼少年期	宮参り 食初め (箸そろえ) 初節句 七五三 十三参り	内祝	当日及び 当日前後
その他	入学の内祝 進級の内祝 卒業の内祝	内祝	※近くの方であれば赤飯を配ります。い ただいた方のご家族が同様のとき にお返しを兼ねてお祝いをしましょう。
	栄転の内祝	内祝	お祝いをいた だいて、10日 から1ヶ月
	開業の内祝 開店の内祝	開業記念品 開店記念品	開業披露当日 開店披露当日
	新築の内祝	内祝・新築内祝	新居招待時
	地鎮祭 上棟式 竣工式 落成式	内祝(礼状)	お祝いをいた だいて、10日 から1ヶ月
	受賞(章)祝	内祝	受賞(章)式後 2週間くらい
	勤続の内祝 創立の内祝	内祝	お祝いの日から 1~2週間
	病気回復	全快内祝・内祝	病気全快の際、 見舞品を受けた先へ
		快気内祝・内祝	退院後、引き続き 通院している場合
	厄除け祝	厄除内祝	厄年の節分、数え年 男42歳・女33歳

### ■わたしかたのマナー

まず、贈り物は、自分のわき(出入り口に近い方向)に置き、挨拶をしてから、ふろしきなど包みを解きます。  
品書きが相手の方向に向くよう定め、口上を述べながら、品物を静かに差し出します。

### ■受けかたのマナー

品物を差し出されたら、一度両手で受け取り、いったん自分の上座(床の間に近い方)に置いて礼を述べます。別室に品物を持っていき、ふくさのままわたされた場合にはお返しして、ていねいにお礼を述べます。